

地域づくり活動 NPO 事業助成（先導的・先駆的）事業 実績報告

団体名	特定非営利活動法人 ガジュマルの船	代表者名	代表理事 猿渡 京子
事業名	摂食障害の理解を深めるために ～障害という枠を超えて～		

<事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容
月1回 (第4水曜日)	<p>摂食障害当事者研究 場所: 事務所とオンライン併用 対象: 摂食障害当事者 当事者それぞれの困りごとについて、ディスカッションし、それをまとめたものを冊子し配布する。(配布先は当事者、支援者、福祉・公共・医療機関)</p>
2021年 5月20日 7月23日 10月20日 2022年 1月18日 3月25日	<p>機関紙の発行 ○機関紙の内容: 当事者の体験談や、団体の活動報告、他の自助グループ情報、当事者で支援者でもある方の福祉の使える情報コーナーなど幅広く扱っている。 ○発送先は当事者、就労移行支援事業所やB型作業所などの福祉機関、ひょうごこころの医療センターをはじめとする依存症専門病院などの医療機関、図書館や神戸市内のボランティアセンターなどの公共機関。2021年からは兵庫県PSW協会にも発送。毎回約200部発行。</p>
週1回 4～7月→毎日曜日 10月～→毎金曜日	<p>ミーティングの開催 対象: 摂食障害・依存症当事者 場所: 事務所とオンラインまたは兵庫区役所ボランティアルームとオンライン 内容: 1回1時間程度。文献を読み合わせたり、テーマに沿って自らの経験や感情、悩みを話す。「その場の話は外部に漏らさない」、「否定批判、称賛、助言をしない」、といったルールをお互いに厳守することで、それぞれが安心して話をする。</p>
11月19日 12月16日 1月21日 2月16日 3月18日	<p>リラクゼーションタイム『お茶会』の開催 対象: 摂食障害・依存症当事者、それらの問題に関心のある人 内容: 「飲む瞑想」で自分の五感に注目する時間を作る。(「瞑想」は今注目されているスキルであり、生活の中でパニックなどのしんどさに襲われたときに、心を休めるトレーニングになる。)その後、自己紹介をかねたゲームをし、交流する。</p>

<効果と成果>

近年、摂食障害患者は、老若男女問わず、増加しています。そして、摂食障害からアルコールや薬物などの依存症や精神疾患を併発することも多く、コロナ禍により、悪化している当事者も多いようです。

私たちガジュマルの船のメンバーは、摂食障害をはじめとする依存症当事者で設立し、運営しています。

今回の事業を通して、当事者研究、機関紙の発行、ミーティングやリラクゼーションタイムの開催をしました。

当事者研究の冊子や機関紙は、公共・福祉・医療機関などに発送しました。図書館やまちラボスペースの機関紙やチラシをみて、問い合わせイベントに参加してくれた方々もいらっしゃいました。そこから定期的に団体の活動に参加してくれる当事者もおり、少しずつですが、広がりを感じています。

リラクゼーションタイムでは、最初は5名ほどの小さな会でしたが、今年度最後の会には支援者の方も交えて11名の参加があり、新しい出会いもたくさんできました。

当事者研究、機関紙、ミーティングなど、それぞれの活動においても、定期的に方法や役割の見直しを行い、「1人が頑張る」のではなく、それぞれが分担しながら、開催、実施できました。

ホームページやSNSも、随時、イベントの告知や報告をすることで、当事者支援者問わず、新規ビューアーが増えています。

今後とも、当事者や支援者が孤立することなく、楽に生きられる社会を模索していきたいと思っています。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	400,000
参加費	7,000
自己資金	177,139
合計	584,139

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経 費	謝金	417,000	324,000
	通信費	65,009	46,000
	消耗品費	17,534	0
	小 計	499,543	370,000
間接経費 (一般管理費)		84,596	30,000
合 計		584,139	400,000